

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価対象事業	健福 - 2	社会福祉運営事業	☐ 法定受託事務
所管課	健康福祉部 福祉政策課		評価者 福祉政策課長 矢部 哲也
一般	会計	款 15	項 5
目 5			
総合計画上の位置付け	分野名	健康福祉	施策の方針名 多様性のある福祉のサービスの充実

1 事業の目的

対象	市民等	意図	社会福祉事業の円滑な執行を支援するため。
効果	社会福祉の増進に寄与する。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業（事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	・福祉総合システムに係る経費の執行及び管理 ・社会福祉法人の定款変更等の認可事務、指導監査等 ・社会を明るくする運動大会及びポスターコンテストの実施 ・保護司会に対する補助金交付	・福祉総合システムに係る経費の執行及び管理 ・福祉総合システムの標準化における契約事務・全体調整等 ・社会福祉法人の定款変更等の認可事務、指導監査等 ・社会を明るくする運動大会及びポスターコンテストの実施 ・保護司会に対する補助金交付	・福祉総合システムに係る経費の執行及び管理 ・福祉総合システムの標準化における契約事務・全体調整等 ・社会福祉法人の定款変更等の認可事務、指導監査等 ・社会を明るくする運動大会及びポスターコンテストの実施 ・保護司会に対する補助金交付
予算額（千円）	42,516	41,754	
国県支出金	10		
地方債			
その他	51	51	
一般財源	42,455	41,703	0
当初人員配置数	1.8	2.5	0.0
人件費（千円）	14,651	16,193	0
事業実績	・福祉総合システムに係る経費の執行及び管理 ・社会福祉法人の定款変更等の認可事務、指導監査等 ・社会を明るくする運動大会及びポスターコンテストの実施 ・保護司会に対する補助金交付		
決算額（千円）	41,991		
国県支出金	14		
地方債			
その他	50		
一般財源	41,927	0	0
人員配置実績数	1.8	0.0	0.0
人件費（千円）	14,219	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
	指標名	社会福祉法人の定期指導監査法人数	法人	5	⇒	5	5	6
活1	実績につながる活動	市内16法人を3か年で指導監査を実施するため、各年度の必要法人数を算定し、計画的に定期指導監査を行った。						
活2	指標名	ポスターコンテストに係る学校へのチラシ配布	校	16	⇒	16	16	16
	実績につながる活動	市内中学校を対象にチラシを配布した。						

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	実績に影響を与える外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	社会福祉法人の定期指導監査法人数については、目標値を達成し、計画どおりに監査を実施することができた。また、日ごろから法人の相談等に対応することで、法人の安定的な運営を支援できた。社会を明るくする運動におけるポスターコンテストに係る学校へのチラシ配布は、計画どおりに市内中学校16校に対してチラシを配布することができた。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No (最大3つ)
成1								

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	本事業は、社会福祉事業を運営するための基盤を整える事務を行っており、各課が実施する社会福祉事業全体が円滑に執行することが目的となるため、本事業の直接アウトカム指標を設定することは馴染まない。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☒ 十分に出ている	☐ 概ね出ている	☐ 出していない
	効率性	事業費削減余地	☐ ある	☐ なし	
		関連・類似事業との統合	☐ できる	☐ できない	
方向性	公平性	受益者負担	☐ 導入済	☐ 導入予定	☒ 導入できない
		評価実施年度の方角性	⇒ 評価実施翌年度以降の方角性		
	事業内容の方角性	☒ 事業内容は現状通り ☐ 事業内容は見直し済 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済	⇒	☒ ① 事業内容は現状通りとする ☐ ② 事業内容は見直す ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する	→ ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 事業へ統合
	予算規模の方角性	☐ 予算規模は現状維持 ☒ 予算規模は拡大済 ☐ 予算規模を縮小済	⇒	☐ ⑤ 予算規模は現状維持とする ☒ ⑥ 予算規模は拡大する ☐ ⑦ 予算規模は縮小する	

課題への対応		結果	具体的な内容	
今後の取組方針（見直し方針）	前年度の新たな課題への対応結果	前年度は新たな課題なし		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題	新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性	新たに認識された課題はなかったため検討なし		
	総評	・福祉総合システムについて、安定的な稼働を担保しながら国が進める標準化及びガバメントクラウド化を実施していく必要があり、令和9年度までは一時的に業務量が増加することが見込まれるため、部内各課業務プロセスを整理し計画的に進めていく為、ベンダーと調整を行う。 ・社会福祉法人指導監査については、社会福祉法人の安定的な運営が、高齢者、障害者、子どもなど多くの市民の生活に寄与するものであることから、専門家である監査法人の支援を得ながら引き続き指導していく。 ・社会を明るくする運動大会及びポスターコンテストは、更生保護等について学ぶ機会として「犯罪や非行を防止し、新たな被害者も加害者も生まない安全で安心して暮らすことのできる明るい地域社会を築くこと」の推進に寄与することから、今後も効果的な手法を検討し、推進していく。		上位施策への寄与度 B

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									

当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方	本事業は、社会福祉事業を運営するための基盤を整える事務を行っており、各課が実施する社会福祉事業全体が円滑に執行することが目的となるため、ベンチマークの設定が馴染まない。
------------------------------	--